

# お知らせ

INFORMATION

No.2015-08  
2015年1月  
病体生理研究所

## 新規受託開始のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当研究所をご利用いただきまして誠に有り難うございます。

この度、下記検査項目におきまして、新たに受託を開始させて頂くことになりましたので  
ご案内いたします。

何卒、ご利用頂けますようご案内申し上げます。

敬具

記

### 【新規受託開始について】

#### ◆ ルフィナミド [16957]

※項目情報裏面参照

《受託開始日》：2015年2月2日（月）より

## 【新規項目情報】

項目名称	ルフィナミド
コード	16957
検体材料	EDTA 血漿 0.3mL
保 存	絶凍
採取容器	No.⑩→⑦
検査方法	LC - MS/MS
単位	μg/mL
所要日数	4~7日
実施料	特定薬剤治療管理料
備考	主な商品名：イノベロン

### ◆ ルフィナミド

レノックス・ガストー症候群(Lennox-Gastaut Syndrome:LGS)は就学前の小児で発症する重篤な難治性のてんかん症候群です。複数のてんかん発作型を示し、コントロールが極めて困難とされており、強直発作(筋肉の攣縮)、脱力発作(突然の筋緊張の弛緩)、欠伸発作(短時間の意識消失)、強直間代発作(大発作)及びミオクローニー発作(突発的な筋肉の攣縮)などの所見が認められます。

国内にはおよそ3,600人程度の患者が存在するとされ、抗てんかん薬やホルモン療法などによる治療が行われています。

ルフィナミドは、トリアゾール骨格を有する新規化合物で、脳内のナトリウムチャンネルに作用し、抗てんかん作用を示すとされています。本剤は欧米・アジア地域の20カ国以上で、利用されていますが、今年の5月に「他の抗てんかん薬で十分な効果が認められないLGSにおける強直発作及び脱力発作に対する抗てんかん薬との併用療法」に対する効能が認められ国内での利用が可能となりました。

本剤は、併用する薬剤、肝機能の低下及び食事などの影響により、血中濃度が増減することが知られており、より効果的な治療のために、血中濃度の確認をおすすめします。

以上